

作成日：2024年5月24日

～下記の研究をおこないます～

『当院入院患者における Short Physical Performance Battery の  
経時的変化と歩行自立度の関連要因』

【研究の目的】

自宅退院に向けた介入を実施していく上で、移動手段の確立は必要不可欠なものになります。我々リハビリテーション専門職は、安全かつ円滑な生活が送れるよう、適切な移動手段を提案する責務があります。近年では Short Physical Performance Battery（以下 SPPB）を用いた歩行自立度の予測に関する研究報告がなされています。他方、SPPB の経時的変化や病気やケガの種類を考慮した歩行自立度の予測に関する研究は十分ではありません。SPPB は簡便かつ包括的な評価指標であり、患者さんへの負担も少ない評価となっております。本研究では SPPB の結果がどのように変化していくのか、退院時の歩行自立度にどの程度の影響を及ぼしているのかを明らかにすることを目的としています。

【研究の期間】

実施承認日～2026年3月31日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

実施承認日から2026年3月31日までに当院においてリハビリテーション処方のあった患者。

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：特になし

情報：年齢、性別、身長、体重、BMI、受傷前歩行能力、既往歴、受傷日、入院日、手術日、退院日、リハ開始日、リハ終了日、骨折部位、SPPB、握力、退院時歩行能力（Functional Independence measure）、歩行時における痛みの程度（Visual Analogue Scale：以下VAS）、転倒恐怖感（VAS）離床開始日、認知機能（Mini Mental State Examination）など

●外部への試料・情報の提供

得られたデータについては、ID割り付けによる匿名化を行います。また、匿名化されたデータはロック付きUSBへと保管します。その後、中部大学大学院生命健康科学研究科リハビリテーション学専攻にて統計処理を行います。

【研究組織】

社会医療法人愛生会総合上飯田第一病院

◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。

◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

研究代表者：リハビリテーション科 川瀬 修平

倫理委員会承認番号：202402

◎情報等が当研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、患者さんには不利益が生じることはありません。

研究責任者

社会医療法人愛生会総合上飯田第一病院  
〒462-0802 愛知県名古屋市北区上飯田北町 2-70  
TEL 052-991-3111 (代)  
お問い合わせ先 庶務課